



今回は「小論文&面接試験」特集です！

現在、入学試験で「総合型」「推薦型」の募集人数の割合が増加しています。ここでは「小論文」「面接試験」が課されることが多くなっています。小論文も面接も基本的には、志望分野についての意欲・関心を問うものであり、「総合型」「推薦型」の学生募集のねらいに合致する出題形式なので、多くの学校で採用されているのです。

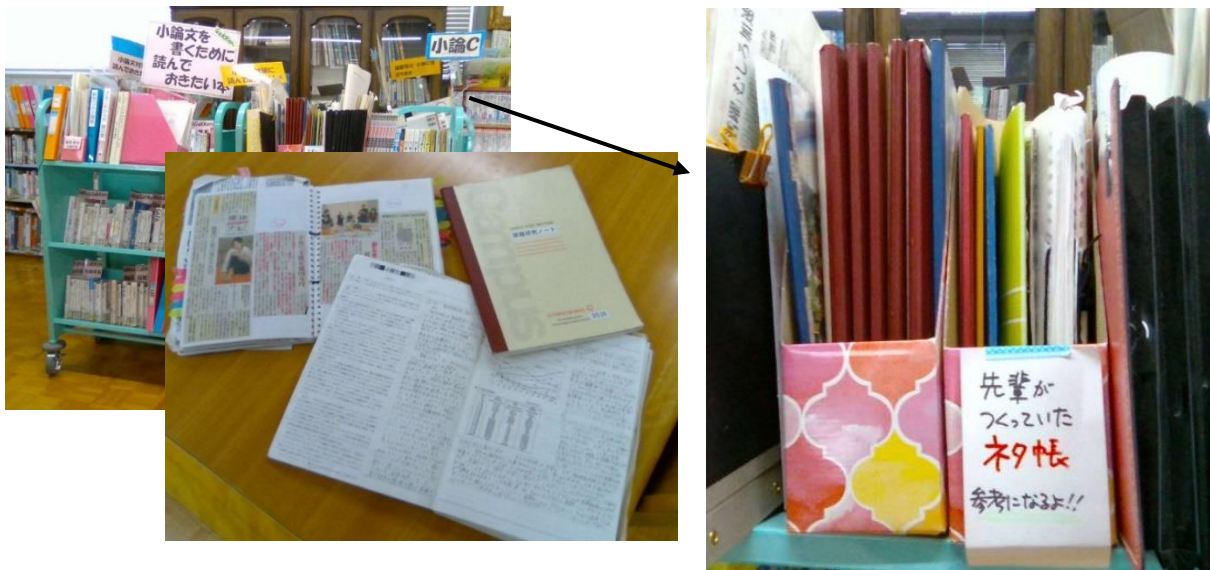
しかし、「小論文」も「面接試験」も何もせずに書けたり話せたりする力がつくものではありません。では何から手を付ければいいのでしょうか。今回の「進路NEWS」がヒントになれば幸いです。

「三高連絡箱」にもこの「進路NEWS」を投稿します。カラーで載せますので、ぜひ見てください！

🍁 図書館へ行ってみましょう！

過去先輩方が作られたノートです！

1年生から始めた人もいます！試験直前になってネタ集めをしようとしても時間がありませんし、日頃からニュースについて考えたり、自分の意見をまとめてみることで、思考力・文章力がつきます。



🍁 こんなコーナーがあるのを知っていますか？

【読売新聞ワークシート】



ここに提出するところがあります↑

自分の意見を書いて提出すると添削をもらえるかも？

図書館にはまだまだ「小論文」や「面接試験」に役立つものがたくさんあります！

司書さんに直接聞いてみるのも良いですね。

★ また、今回は「小論文」について、校長先生にお話をうかがいました。



そこに〇〇はあるのか？

学校長 岡 秀樹

皆さんがこれから進路実現をしていこうとする場合、小論文（作文）は避けて通れないものです。

これをクリアするための対策は一見それほど難しくはなさそうです。なぜなら、小論文で求められているのは、皆さんが将来学ぼうとしていることそのものだからです。星の数ほどもある進路の中で、自分の意志で選択したということは、言い換えれば、そこに思い入れがあるからのはず。

特に進学の場合、現在急激に割合の増えている総合型・推薦型の年内入試においては、志望分野に対する強い関心があることが必須条件となっています。関心は目に見えませんが、文章に表現させて優秀な学生を確保しようというのが小論文入試です。

ところが、3年生になって個別指導が始まると、摩訶不思議なことが起きます。自分の意志で選択した分野のはずなのに、うまく答えられない生徒が続出するのです。表面的なこととは答えられても、少しツッコミを入れるとあっという間に答えに窮してしまうのです。

小論文の試験に情報端末を使ってよいという学校の話は聞いたことがありません。要するに知識を自分の中にしっかりストックしておかないと勝負にならないわけです。自分の目指す志望分野の魅力が3分間定みなく語れるか。まずはこれが最初のハードルです（3分って結構長いですよ。大抵の人は1分も語れないと思います）。

ちょっと大袈裟かもしれませんが、年内入試は「志望分野への熱量選手権」なのです。「まあまあ好き」とか「消去法でいうとここかなあ」くらいの気持ちで受け入れてくれるほど甘くはありません。

君たちは愛がまだまだ足りません。本当に進路実現をしたいのであれば、とことん好きになりましょう。

校長先生、ありがとうございました。

生徒が校長室に小論文について質問に行ってもよいですか？

「もちろん大歓迎です！」とのことですよ



おわりに…

3年間はあっという間です。早めの対策が進路を左右します。

今回の「進路 NEWS」を読んで、一人でも目指す進路に向けて動き出してもらえると嬉しいです。

この先一生を決める3年間と言っても過言ではありません。大事に過ごしましょう。